

特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入で、その支出を賄うものです。このように独立して行う事業を特別会計として、一般会計と別に経理しています。

会計	予算額	収入額	支出額
国民健康保険事業	211億2,851万円	196億1,514万円	194億7,266万円
介護保険事業	188億7,398万円	181億1,546万円	167億1,787万円
後期高齢者医療事業	29億8,400万円	28億5,456万円	25億2,115万円
土地取得事業	9,100万円	9,049万円	9,049万円

企業会計

病院の診察料や水道料金などの特定の収入を財源とし、独立して行う特別会計の中で、地方公営企業法の適用を受ける会計です。

	病院事業会計		水道事業会計		下水道事業会計	
	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額
収益的収入	115億5,198万円	117億3,355万円	29億5,644万円	29億3,107万円	54億1,704万円	53億4,146万円
収益的支出	114億8,939万円	112億9,660万円	28億6,989万円	26億3,232万円	51億8,382万円	49億5,342万円
資本的収入	8億5,699万円	8億2,179万円	14億5,257万円	12億7,102万円	45億5,450万円	32億6,127万円
資本的支出	12億5,161万円	12億3,892万円	34億8,134万円	27億7,449万円	67億3,846万円	53億1,523万円

市有財産の現在高

市有地 土地
33,003,891㎡

立木
118,986㎡

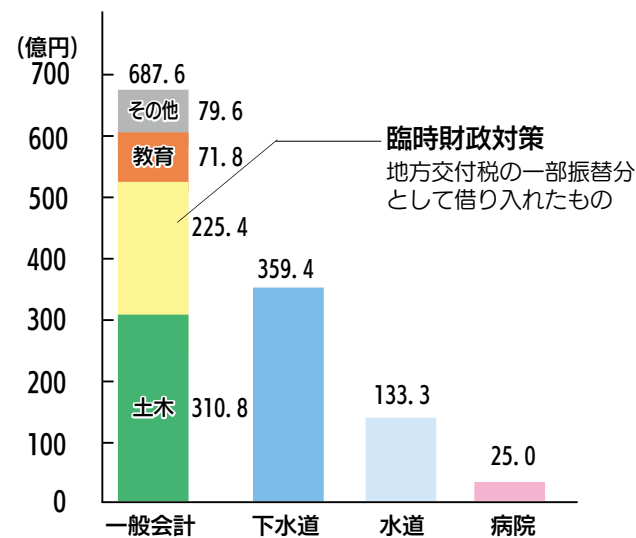
建物
669,056㎡

有価証券
7,403万円

出資金
15億7,565万円

基金
225億1,490万円

市債の現在高



※借り入れた市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設等に充てられます。その施設が、将来の市民にも利用されることから、世代間で公平に整備費用を負担するための一つの方法です。

市の借入金の残高は、令和5年3月31日現在、約1,205億3,000万円あります。
1人あたりでは一般会計で約36.5万円、企業会計で約27.4万円となります。

※4月1日から5月31日までの2カ月間が出納整理期間(収入・支出を整理する期間)となっていますので、ここでお知らせするものは、最終決算額ではありません。

令和4年度の一般会計、特別会計及び企業会計における令和5年3月31日現在の予算の執行状況をお知らせします。

information
お知らせ

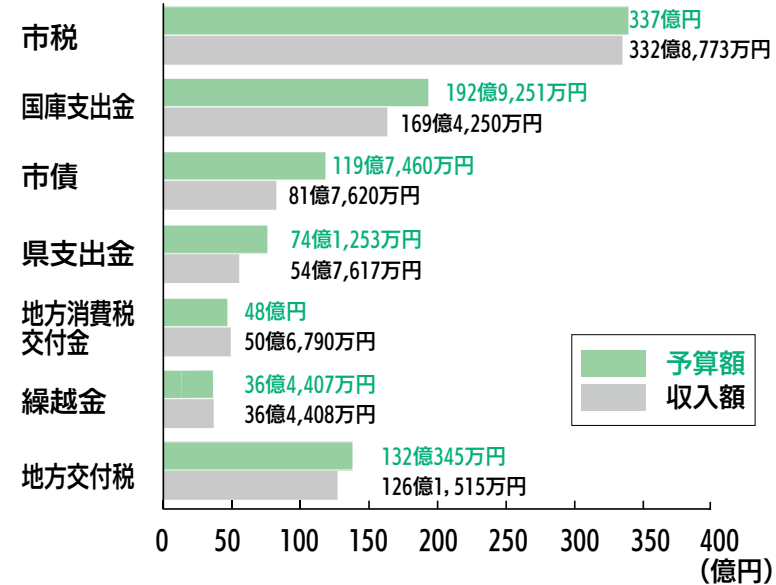
令和4年度 執行状況報告

一般会計

市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、市民の皆さんの暮らしに直接関係のある道路や河川の整備、ごみ処理や福祉、教育などの事業を行うための会計です。

【収入】 予算額 940億2,716万円

収入額 852億973万円



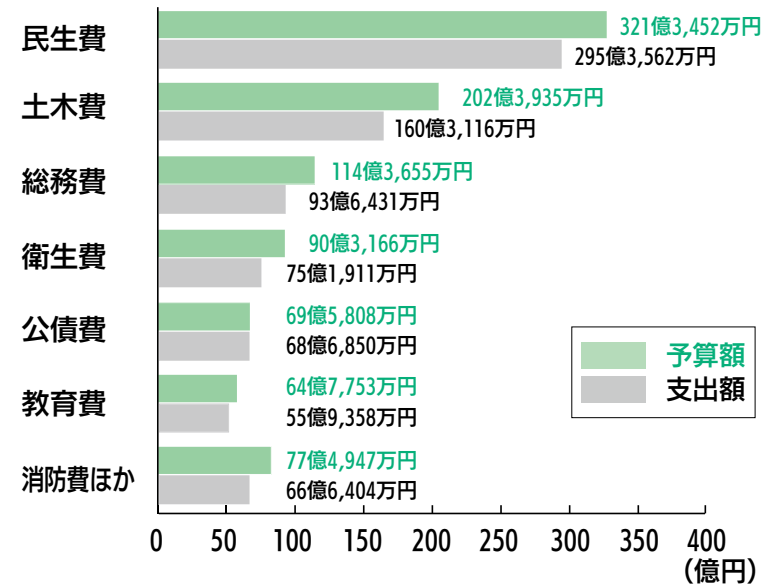
用語解説

【収入】

- ▶市税…皆さんが納めた市民税や固定資産税など
- ▶国庫支出金…国からの補助金や負担金など
- ▶市債…市が建設事業などの財源に充てるために借り入れる長期の借入資金
- ▶県支出金…県からの補助金や負担金など
- ▶地方消費税交付金…消費税のうち国から配分されたお金
- ▶繰越金…前年度会計から繰り越したお金
- ▶地方交付税ほか…財源調整などのために国から再配分されたお金など

【支出】 予算額 940億2,716万円

支出額 815億7,632万円



【支出】

- ▶民生費…子供や高齢者などの福祉に使うお金
- ▶土木費…道路や河川整備などに使うお金
- ▶総務費…市役所の経営管理、戸籍の管理、選挙などに使うお金
- ▶衛生費…保健やごみ処理などに使うお金
- ▶公債費…借り入れた地方債(市債)の返済金(元金と利子)など
- ▶教育費…学校・生涯教育、文化・スポーツ振興に使うお金
- ▶消防費ほか…駿東伊豆消防組合の負担金や消防団の運営など、その他に使うお金

令和5年3月31日現在、予算額940億2,716万円に対し、収入率は90.6%、支出率は86.8%となっています。

予算の執行状況をお知らせします



◎財政課

☎055-934-4715